

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	ささゆり苑痴呆対応型共同生活介護事業所
日付	平成17年9月12日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年 病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・季節感を充分楽しめる山合の静かな環境に位置し、中学校の跡地利用と地域の活性化を考えて建設されたホームで、地域の自治会、小学校、中学校、地域ボランティア等との交流も活発で、地域から大切にされているグループホームです。 ・室内は、明るく、ゆったりと、快適に過ごせるよう設計されています。 ・管理者はホーム運営に熱意があり、地域との交流を通じて、認知症への理解が地域の中で深まっていくことを願いながら支援されています。 ・入居者は明るい表情で、いきいきと生活されています。 ・利用者負担をできるだけ軽減するために、入居料金は低く設定されています。 ・行事ごとにボランティアを受け入れており、地域との交流が十分にできています。母体である社会福祉協議会を活用しながら、入居者のニーズに添って、日常生活に関わっていただけるボランティアを確保できれば、より良いのではないのでしょうか。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・配膳時に、一部の介護職員に粗雑なケアが見られました。グループホームの理念が職員全体に浸透するために、非常勤の介護職員にも研修機会があれば良いのではないのでしょうか。

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりと、安心して生活をしていただき、各入居者の認知症の進行を少しでも遅らせるようにしています。 ・入居者のそれぞれの希望や楽しみごとに添えるよう、家族より生活歴を良く聞き取り、ケアプランに組み込んでいます。 ・地域との交流を大切に、入居者が社会参加でき、ホームも地域に貢献できることを目指しています。 				

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周リや空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・各自の好きなこと(例えば、畑作りや草引き、散歩やドライブ等)ができるように、希望に添えるように取り組んでいます。 ・各入居者が自信回復できるような支援をされています。例えば、特技だった編み物が再びできるようになったり、もちつきを楽しむようなことができています。 ・楽しく、会話をしながらの食事ができるように取り組んでいます。 				

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの人生経験や生活歴をよく把握しながら、持てる力が発揮できるようなケアプラン作りに取り組んでいます。 ・他の入居者の前では、入居者のプライベートな話しをしないように職員間で徹底しています。 				

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・事故が起きないように、「ひやりハット」を作成して、職員間で話合ったことを「ミーティングノート」にまとめています。 ・緊急対応の学習会を職員間で企画して、「吸引機の取り扱い」を学習しています。 ・誤嚥や身体機能の低下を起こさないように、日頃から、食生活と体を動かすことを大切にしています。 ・職員会議で、全職員の意見交換を大切に捉えています。 ・年2回の消防訓練を実施しています。 				